

## 持続可能な開発目標（SDGs）の取組をはじめます

㈱ジェイアール総研エンジニアリング（以下、JRSE）は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の取組をはじめましたので、お知らせいたします。

### ➤ SDGs への取組





2015年9月の国連サミットにおいて193の加盟国全会一致で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）は、2030年までに社会が抱える問題を解決するための国際目標です。その目標達成に向け、日本においても産学官の技術力を積極的に役立てることが求められています。




JRSEは、土木構造物の維持管理に係る専門家集団として、鉄道事業者をはじめとするライフライン・インフラ事業者等への技術的な支援を通して世の中に貢献することを主な使命とし、高い品質の成果を創出するとともに、高度な技術力により社会に貢献しております。JRSEの事業や企業活動は、まさに国際社会が取り組むSDGsの達成に貢献するものと考えております。

また、国際目標とJRSEが果たすべき使命を重ね合わせ、社会からの期待と要請に応えながら持続的に成長していくための経営戦略ツールとしてSDGsを積極的に活用します。

### ➤ JRSE と SDGs 優先課題

JRSEではSDGsに掲げられた17の目標のうち、JRSEの事業や企業活動でSDGsに大きく貢献できる目標を「11 住み続けられるまちづくりを」を中心に7つに特定し、これらの目標に直接的・間接的に貢献し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

主な事業・企業活動	具体的な取組	SDGsの目標
維持管理 ◆ 耐震診断・耐震補強	➤ レンガ造のような旧式構造物をはじめとした各種構造物の耐震診断 ➤ 的確な耐震補強の提案	9 産業と経済活動の発展をつくり出す 
◆ 健全度調査・診断・対策	➤ 旧式構造物を含む様々な構造物の調査 ➤ 健全度、経年劣化の程度や各種性能の診断 ➤ 的確な補修・補強方法の提案 ➤ 鉄道用地震計の保守	11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任 
◆ 技術開発	➤ 事業者のニーズを反映しより実務に対応したオリジナリティの高いメンテナンス技術の開発	13 気候変動に具体的な対策を 

<b>技術承継</b> ◆ 維持管理に精通した技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ OJT や階層別研修の充実</li> <li>➤ 技術者としての専門知識の向上を図るための関係企業との積極的な人事交流</li> <li>➤ 資格取得、学・協会活動の推奨</li> </ul>	
<b>働き方</b> ◆ 働き方改革の推進・ハラスメント対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 職場の安全衛生、ワークライフバランスの取組強化</li> <li>➤ 心身ともに健全で安心して働ける職場環境の構築</li> <li>➤ 性別、年齢、価値観の違いなど多様性を尊重し、様々な社員が生きがいをもって働ける環境の整備</li> <li>➤ ハラスメントのない働きやすく風通しのよい職場風土の醸成</li> </ul>	 

JRSEの事業や企業活動等がSDGsの達成に寄与していることをホームページなどにおいて積極的に発信してまいります。

以上